

2017年3月21日[火]

18:30~20:45(開場17:30)

会場: **オーバルホール**

大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1

定員: **480名** ※要事前申込/先着順

参加費: **無料** ※手話通訳あり

講演1 **東日本大震災から学ぶ**  
—豊かな暮らしのために—

竹沢 尚一郎 (国立民族学博物館・総合研究大学院大学 教授)

講演2 **「遠い水」「近い水」**  
—琵琶湖から生存可能な関西を構想する—

嘉田 由紀子 (びわこ成蹊スポーツ大学 学長)

パネルディスカッション 竹沢 尚一郎×嘉田 由紀子×池谷 和信



恵<sup>めぐ</sup>

災<sup>わざわ</sup>いの水

みの水、



# プログラム

- 17:30-18:30 開場
- 18:30-18:35 開会 **丸山 雅也**(毎日新聞大阪本社 編集局長)
- 18:35-18:40 挨拶 **須藤 健一**(国立民族学博物館 館長)
- 18:40-18:50 概要説明 **池谷 和信**
- 18:50-19:20 **講演1** **竹沢 尚一郎**
- 19:20-19:50 **講演2** **嘉田 由紀子**
- 19:50-20:10 休憩
- 20:10-20:45 パネルディスカッション **竹沢 尚一郎 × 嘉田 由紀子 × 池谷 和信**

## 講演1



### 竹沢 尚一郎 たけざわ しょういちろう

国立民族学博物館・総合研究大学院大学 教授

#### 要旨

東日本大震災は三陸各地に甚大な被害をもたらしたが、この地域の人が生活の糧としてきたのは海の恵みであった。沿岸の縄文式遺跡の多くが津波の被害を受けていないという事実は、海のもたらす恵みと破壊が古くから理解されていたことを物語っている。海と共に生きるすべをどのように再発見していくか。さまざまな事例から考えたい。

#### 講師紹介

フランス社会科学高等研究院博士課程修了。民族学博士。九州大学大学院教授を経て、2001年より現職。西アフリカで考古学発掘に従事するほか、東日本大震災の後は家族で岩手県の被災地の支援をしながら研究をおこなった。『被災後を生きる：吉里吉里・大槌・釜石奮闘記』（中央公論新社、2013年）など。

## 講演2



### 嘉田 由紀子 かだ ゆきこ

びわこ成蹊スポーツ大学 学長(前滋賀県知事)

#### 要旨

「水と人間のかかわり」を、琵琶湖を中心に、アメリカの五大湖周辺、ヨーロッパのレマン湖、アフリカのマラウイ湖などと比較研究。わかった事はかかわりの構図には三つの層：「自然」「文化」「文明」が重層化しているということだ。日本の自然・文化的に「近い水」が、文明的な「遠い水」になった今、改めて関西での「近い水」の再生を訴え、災害多発日本の生存可能性を提案したい。

#### 講師紹介

世界各地で水環境を学び、結果として琵琶湖の自然と文化の世界的価値を発見。研究成果を行政と政治に活かすべく2006年から二期八年滋賀県知事。農学博士。人類学・社会学的視座から内発的發展をめざす。著書に『知事は何ができるのか?』（風媒社、2012年）、『琵琶湖に恋した知事』（岩波書店、2009年）など多数。

## 総合司会



### 池谷 和信 いけや かずのぶ

国立民族学博物館・総合研究大学院大学 教授

#### 紹介

生き物文化誌学。理学博士。「狩猟採集民」からみた地球の歴史を明らかにする。自然、文化、文明の相互作用が課題。著書に『山菜採りの社会誌』、『人間にとってスイカとは何か』、『地球環境史からの問い』など。

### 申込フォームの場合

国立民族学博物館

クリック



国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<http://www.minpaku.ac.jp/>

### 往復はがきの場合 ※申込締切日 3月14日(火)

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 研究協力課		住所・氏名 ご自分の	①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名(本人を含め5名まで) ⑥3月21日 公開講演会

## 会場



- ・JR大阪駅(桜橋口)から地下道にて徒歩約8分
- ・阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分

※車でのご来場はご遠慮ください

往信面に下記①から⑥と返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名(本人を含め5名まで) ⑥3月21日公開講演会

【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 研究協力課 ※参加申込された方の個人情報は本講演会のみで使用いたします。

◆お問い合わせ先: 国立民族学博物館 研究協力課 TEL06-6878-8209